

学校法人専修大学 令和7年度予算について

標記の件について、別紙「令和7年度予算書」を記載のとおり編成しましたので、その概要を説明いたします。

1 予算編成方針

(1) 目 標

専修大学創立150年を見据え、財政の健全化を図る。

(2) 基本方針

- ① 教育・研究環境の質的向上を図る上で、適正な予算編成を実施する。
- ② 業務の合理化と経費の見直しを図る。
 - ・物価の高騰等により経費負担が増す中でも、学校法人の収入は限定的であるため、各予算単位（所管）が要求する支出予算項目については、現状を見直し、業務を合理化することを前提とした予算要求内容とすることを要請する。
（「現状を見直し、業務を合理化する」とは、過去を踏襲せず業務のスクラップを推進し、成果をあげるべく業務の在り方を検討し直すことを求めるものである。）
 - ・各予算単位から要求された各予算項目は、費用対効果及び実績を考慮して予算化する。
 - ・令和7年度の予算査定は、経常予算について令和6年度の当初予算の額を超えないことを原則とする。各予算単位（所管）間で情報共有と相互協力を促し、予算の効率化を図る。
 - ・各予算単位（所管）から要求された項目ごとの経常予算の査定は、原則としてゼロベースにより行うものとし、業務の見直しを促すことで、経常的経費の削減に繋げるものとする。
 - ・経費の適正な予算配分を実施する観点から、予算単位（所管）に対して必要なヒヤリングを十分に行う。
- ③ 予算執行を伴う新規業務計画の策定に関しては、「スクラップ&ビルド」を基本原則とする。
- ④ 予算制度を確立するという観点から、当初予算に計上された事業以外の項目については、原則的には当年度での対応を見送る。（基本的には特別な事情を除き、補正予算の対象としない。）
- ⑤ 将来構想における施設設備拡充・整備事業の実現に向け、借入金の確実な返済を行うとともに必要な資金の段階的確保に努める。
- ⑥ 専修大学創立150年を見据えた財政健全化の実現に向けて、中期計画の策定時に掲げた事業活動収支差額比率の目標値7.2%については、その達成が困難な状況であることから、令和7年度の同比率の目標値は、令和6年度の目標値3.25%を0.25ポイント上回る3.5%超とする。

2 事業活動収支予算 ―前年度予算額との比較―

〔概 要〕

事業活動収支予算では、事業活動収入計が前年度予算に比べ1億5,123万円の増（前年度予算比0.58%増）で262億3,638万円。事業活動支出計は、前年度予算に比べ3億3,405万円の減（前年度予算比1.35%減）で244億921万円となり、基本金組入前当年度収支差額は、18億2,717万円となっている。基本金組入額合計は、前年度予算に比べ8億7,269万円の組入額増（前年度予算比67.42%増）で△21億6,704万円となり、基本金組入前当年度収支差額と基本金組入額合計を合わせた当年度収支差額は、前年度予算に比べ3億8,741万円の減（前年度予算比814.82%減）で△3億3,986万円となっている。前年度繰越収支差額（△448億9,628万円）を加えた翌年度繰越収支差額は、△452億3,614万円となっている。

〔 内 容 〕

(1) 経常収支

○ 教育活動収支

教育活動収入計は、前年度予算に比べ 1,015 万円の減（前年度予算比 0.04%減）で 258 億 9,899 万円。教育活動支出計は、前年度予算に比べ 3 億 1,102 万円の減（前年度予算比 1.27%減）で 242 億 3,140 万円となり、教育活動収支差額は、16 億 6,758 万円となっている。

(事業活動収入の部)

- ① 学生生徒等納付金は、前年度予算に比べ 8,814 万円の減（前年度予算比 0.42%減）で 207 億 2,558 万円。新入生の人数（学部・学科、大学院）を専大で 4,121 人、石巻専大で 313 人を見込み、全体で 4,434 人を見込んでいる。また、全学年では、学費完納見込者数を専大で 17,516 人、石巻専大で 1,180 人を見込み、全体で 18,696 人を見込んでいる。
- ② 手数料は、前年度予算に比べ 350 万円の減（前年度予算比 0.30%減）で 11 億 6,984 万円。このうち、入学検定料は、前年度予算に比べ 282 万円減の 11 億 4,084 万円を計上している。
- ③ 寄付金は、施設設備寄付金を除いたもので、前年度予算と同額の 1 億 8,000 万円を見込んでいる。
- ④ 経常費等補助金は、施設設備補助金を含まず、前年度予算に比べ 1 億 1,637 万円の増（前年度予算比 5.08%増）で 24 億 878 万円。このうち、国庫補助金は、授業料等減免費交付金の増を見込み、前年度予算に比べ 1 億 2,101 万円の増（前年度予算比 5.32%増）で 23 億 9,598 万円を計上している。
- ⑤ 付随事業収入は、前年度予算に比べ 1,163 万円の増（前年度予算比 1.87%増）で 6 億 3,472 万円。補助活動事業収入、受託事業収入の増を見込んでいる。
- ⑥ 雑収入は、前年度予算に比べ 4,651 万円の減（前年度予算比 5.63%減）で 7 億 8,005 万円。退職金財団交付金、その他の雑収入の減を見込んでいる。

(事業活動支出の部)

- ① 人件費は、前年度予算に比べ 2 億 8,052 万円の減（前年度予算比 1.96%減）で 140 億 1,610 万円。退職給与引当金繰入額 9 億 211 万円（前年度予算より 1 億 9,566 万円の減）を含んでいる。
- ② 教育研究経費は、前年度予算に比べ 711 万円の増（前年度予算比 0.08%増）で 86 億 9,435 万円。減価償却額 19 億 1,269 万円（前年度予算より 5,953 万円の減）を含んでいる。主な科目の予算額（前年度予算との増減）及びその内容は以下のとおり。
 - ・ 準備品費：2,301 万円（1,316 万円の減）
ネットワーク情報学部実習室受付パソコン及び一眼レフカメラレンズ、教員個人研究費準備費品、石巻学生実験、受託研究費、共創研究センター準備品等
 - ・ 消耗品費：2 億 5,036 万円（2,358 万円の減）
ネットワーク情報学部パソコン実習等教材費、新入生用「知のツールボックス」、学位記ファイル、学生用就職関連参考書籍、各実習室・実験室、国際交流各種プログラム、各種課外講座教材費等消耗品、教員個人研究費、研究助成、学生ボランティア活動消耗品、体育実技用具、非常食・防災用品、非常時応急手当用品、石巻学生実験、卒業研究、受託研究、奨学寄附金、共創研究センター消耗品等

- ・光熱水費：7億4,079万円（2,180万円の減）
電気料、ガス料、重油・灯油代、上下水道料
- ・旅費交通費：2億1,243万円（2,560万円の増）
ゼミナール合宿出張旅費、学会出張旅費、教員個人研究費、研究助成旅費、在外研究員、特別研究員研究旅費、相馬学術奨励基金海外派遣旅費、国際学術会議航空運賃補助、路線バス運賃学生補助、教育事務所管出張旅費等
- ・奨学費：16億6,137万円（1億2,818万円の増）
新入生特別奨学生、新入生付属推薦奨学生、学術奨学生、スカラシップ奨学生、進学サポート奨学生、大学院学術奨学生、法科大学院新入生学術奨励奨学生、家計急変奨学生、災害見舞奨学生、指定試験奨学生、私費外国人留学生学習奨励費、自己啓発奨学生、スポーツ奨励生、修学支援新制度奨学金等
- ・補助費：3億2,779万円（1,065万円の減）
ゼミナール論集制作費補助、経済学部海外特別研修補助、日本語学科日本語教育実習費補助、異文化コミュニケーション学科海外研修参加費補助、課程博士論文刊行助成、国際交流各種プログラム補助、東南アジア特別聴講生受入れ支援、教員個人研究費、研究員研究費、クラス懇談費補助、研究所補助、学生主催行事補助、100円朝食学生補助、体育会各部活動補助、石巻学生団体活動費、共創研究センター補助等
- ・修繕費：3億9,073万円（9,848万円の増）
神田1～3号館照明器具更新及び受変電設備部品交換工事、生田1号館冷温水機分解整備工事、生田4号館吹抜けシャッター更新工事、生田5号館運動生理学実験室低酸素システム修理、生田9号館アトリウム天井改修及び照明器具更新工事、生田校舎照明器具更新工事、生田体育施設床改修及び照明器具更新工事、伊勢原体育施設散水ポンプ及び井水用受水槽更新工事、生田第2体育寮屋上防水工事、伊勢原セミナーハウス空調機更新工事、石巻1号館及び2号館防火ダンパー更新工事、2号館照明器具更新、雨天体育場防球ネット張替、冷房設備用冷凍機分解点検整備、学生寮給水・給湯子メーター更新、ドラフトチャンバー点検修理等
- ・委託費：16億9,723万円（9,184万円の減）
スマートキャンパス構想によるマイクロソフトユニファイドサポート及びAIチャットボット構築、Microsoft Office 契約料、in Campus システム機能追加、異文化コミュニケーション学科留学準備科目実施、アセスメントテスト実施、資格試験等各種課外講座、留学プログラム、研究費管理システム更新作業、図書整理・受入・閲覧業務、入学試験実施、学生安否確認サービス、交通誘導業務、受付・校舎管理業務、校舎清掃業務、建物・設備管理業務、サテライトキャンパス業務、セミナーハウス管理、卒・入学式会場設営及び警備、樹木等保全管理、教育事務所管人材派遣、体育会監督・コーチ業務及びトレーナー、石巻通学支援バス運行、学生寮管理業務等
- ・保守費：4億8,061万円（2,508万円の減）
学内LANシステム、無線LANシステム、仮想デスクトップ基盤、in Campus システム、教育・研究用コンピュータシステム、学内統合認証システム、教室視聴覚設備、証明書自動発行システム、図書館システム、教学事務用コンピュータシステム、レーザープリンタシステム、電話設備、エレベーター・エスカレーター、消防設備、受変電設備、中央監視設備、空調機、石巻質量分析装置、液体窒素自動充填装置、電界放出形走査電子顕微鏡等

③ 管理経費は、前年度予算に比べ3,760万円の減（前年度予算比2.41%減）で15億2,094万円。減価償却額1億8,664万円（前年度予算より828万円の減）を含んでいる。主な科目の予算額（前年度予算との増減）及びその内容は次のとおり。

- ・修繕費：1,331 万円（2,281 万円の減）
 神田 1～3 号館受変電設備部品交換工事、生田 4 号館吹抜けシャッター更新工事、
 生田 9 号館アトリウム天井改修及び照明器具更新工事、生田第 2 体育寮屋上防水
 工事、伊勢原セミナーハウス空調機更新工事、生田校舎事務用電源装置部品交換、
 石巻学生食堂照明器具更新、冷房設備用冷凍機分解点検整備、消火栓設備消火ホ
 ース更新等
- ・委託費：5 億 3,276 万円（2,006 万円の増）
 ニュース専修発送、入学ガイド発送、入学センターインフォメーション業務、
 インターネット出願システム処理、危機管理顧問契約、受付・校舎管理業務、校
 舎清掃業務、建物・設備管理業務、車両運転業務、ホームカミングデー会場設営、
 管理事務所管人材派遣、産業医派遣業務、給与明細電子配付システム処理、旅費・
 交通費精算システム導入、職員用オンデマンド研修、体育寮給食業務、セミナー
 ハウス管理、外部監査、石巻学生寮食堂運営等
- ・謝礼費：957 万円（1,852 万円の減）
 ホームカミングデー協力者、オープンキャンパス応対者、入試直前対策講座講
 師派遣、弁護士報酬等

○ 教育活動外収支

教育活動外収入計は、前年度予算に比べ 1,223 万円の増（前年度予算比 8.72%増）で 1 億 5,250 万円。教育活動外支出計は、前年度予算に比べ 128 万円の減（前年度予算比 9.86%減）で 1,171 万円となり、教育活動外収支差額は、1 億 4,079 万円となっている。

○ 経常収支差額

教育活動収支差額と教育活動外収支差額を合わせた経常収支差額は、前年度予算に比べ 3 億 1,437 万円増の 18 億 837 万円となっている。

(2) 特別収支

特別収入計は、前年度予算に比べ 1 億 4,916 万円の増（前年度予算比 417.46%増）で 1 億 8,489 万円。特別支出計は、前年度予算に比べ 2,175 万円の減（前年度予算比 57.49%減）で 1,608 万円となり、特別収支差額は、1 億 6,880 万円となっている。特別収支の科目別内訳は以下のとおり。

① 特別収入

資産売却差額	有価証券売却差額 1 億 5,279 万円
その他の特別収入	施設設備寄付金 2,000 万円 現物寄付 1,210 万円

② 特別支出

資産処分差額	施設処分差額 1,138 万円 設備処分差額 470 万円
--------	----------------------------------

3 資金収支予算

〔 概 要 〕

総額は、340 億 9,671 万円で前年度予算に比べ 7 億 6,994 万円の増（前年度予算比 2.31%増）の予算規模となっている。

収入の部では、当年度収入合計が前年度予算に比べ 4 億 7,619 万円の増（前年度予算比 1.83%増）で 265 億 2,722 万円。前年度繰越支払資金は、前年度予算に比べ 2 億 9,374 万円の増で 75 億 6,948 万円となっている。

支出の部では、当年度支出合計が前年度予算に比べ 4 億 8,390 万円の増（前年度予算比 1.88%増）で 262 億 4,118 万円。翌年度繰越支払資金は、翌年度の収入となる前受金収入を含み、前年度予算に比べ 2 億 8,603 万円の増で 78 億 5,552 万円となっている。

〔 内 容 〕

※前記の事業活動収支予算と共通の科目を除く資金収支予算特有のものについて説明。

(1) 収入の部

- ① 寄付金収入は、特別寄付金収入として前年度予算と同額の 2 億円を見込んでいる。
- ② 補助金収入は、前年度予算に比べ 1 億 1,274 万円の増（前年度予算比 4.91%増）で 24 億 878 万円。国庫補助金収入では、授業料等減免費交付金の増を見込んでいる。
- ③ 資産売却収入は、前年度予算に比べ 3 億 4,200 万円の増（前年度予算比 171.00%増）で 5 億 4,200 万円を見込んでいる。
- ④ 受取利息・配当金収入は、前年度予算に比べ 1,223 万円の増（前年度予算比 8.72%増）で 1 億 5,250 万円を見込んでいる。
- ⑤ 借入金等収入は、計上していない。
- ⑥ 前受金収入は、令和 8 年度入学者の入学手続時の納入学費（翌年度の学生生徒等納付金収入となる。）で、前年度予算に比べ 4,337 万円の減（前年度予算比 1.22%減）で 35 億 2,434 万円。
- ⑦ その他の収入は、前年度予算に比べ 1,800 万円の減（前年度予算比 3.27%減）で 5 億 3,226 万円。前期末未収入金収入、貸付金回収収入の減を見込んでいる。
- ⑧ 資金収入調整勘定（収入の振替控除科目）は、期末未収入金及び前期末前受金で前年度予算に比べ 1 億 9,712 万円 振替控除額の減（前年度予算比 4.54%減）で 41 億 4,288 万円。令和 7 年度退職教職員に係る退職金財団交付金収入等の期末未収入金及び令和 6 年度前受金収入をそれぞれ計上している。

(2) 支出の部

- ① 人件費支出は、前年度予算に比べ 1 億 6,283 万円の減（前年度予算比 1.14%減）で 141 億 1,831 万円。職員人件費支出、退職金支出等の減による。
- ② 教育研究経費支出は、前年度予算に比べ 6,664 万円の増（前年度予算比 0.99%増）で 67 億 8,165 万円。
- ③ 管理経費支出は、前年度予算に比べ 2,932 万円の減（前年度予算比 2.15%減）で 13 億 3,430 万円。
- ④ 借入金等利息支出は、前年度予算に比べ 128 万円の減（前年度予算比 9.86%減）で 1,171 万円。
- ⑤ 借入金等返済支出は、前年度予算と同額の 4 億 777 万円で償還計画に基づく返済額。
- ⑥ 施設関係支出は、前年度予算に比べ 5 億 4,670 万円の増（前年度予算比 155.87%増）で 8 億 9,746 万円。主な内容は、後記の〔主な施設等整備事項〕に記載している。

- ⑦ 設備関係支出は、前年度予算に比べ 9 億 4,186 万円の減（前年度予算比 84.08%減）で 1 億 7,832 万円。このうち、教育研究用機器備品支出は、前年度予算に比べ 7 億 9,602 万円の減で 8,468 万円となり、神田 5 号館及び生田 4 号館視聴覚設備、教員個人研究費機器備品、石巻学生実験、受託研究、共創研究センター機器備品、カラー印刷機購入等。図書支出は、前年度予算に比べ 536 万円の減で 7,942 万円。車両支出は、前年度予算に比べ 20 万円増の 120 万円。ソフトウェア仮勘定支出は、1,302 万円で令和 8 年度に更新する人事・給与システムのソフトウェア購入支出を計上。
- ⑧ 資産運用支出は、前年度予算に比べ 4 億 27 万円の増（前年度予算比 21.07%増）で 23 億 27 万円。有価証券購入支出は、2 億円を計上。第 2 号基本金引当特定資産繰入支出は、計画による繰入。退職給与引当特定資産繰入支出及び法人基金引当特定資産繰入支出は、前年度に比べそれぞれ 5,000 万円増の 1 億円を繰入。施設設備引当特定資産繰入支出は、前年度に比べ 3 億円増の 13 億円を繰入。
- ⑨ その他の支出は、前年度予算に比べ 9,808 万円の増（前年度予算比 8.03%増）で 13 億 2,021 万円。このうち、前期末未払金支払支出は、前年度予算に比べ 9,464 万円の増で、11 億 8,641 万円。令和 6 年度末に退職の教職員退職金、過年度リース契約取引の令和 7 年度リース料等。
- ⑩ 予備費は、前年度予算と同額で 1 億 5,000 万円。
- ⑪ 資金支出調整勘定（支出の振替控除科目）は、期末未払金及び前期末前払金で、前年度予算に比べ 5 億 750 万円 振替控除額の減（前年度予算比 28.73%減）で 12 億 5,885 万円。令和 7 年度末に退職する教職員の退職金、3 月分退職金財団掛金及び日本私立学校振興・共済事業団掛金等未払金、令和 6 年度末における和・洋雑誌の購入に係る前払金の回収見込額をそれぞれ計上。

〔 主な施設等整備事項 〕

専 修 大 学

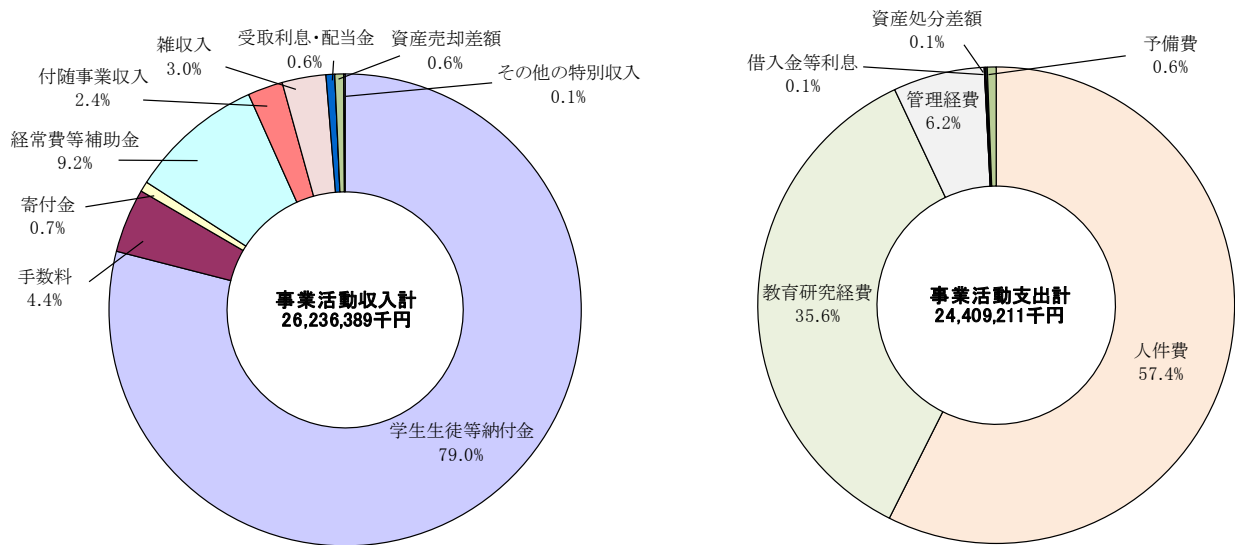
- ①神田 5 号館障がい学生支援室設置に伴うネットワーク配線他工事
- ②神田 6 号館及び 7 号館セキュリティシステム更新工事
- ③神田 6 号館空調設備他更新工事
- ④生田 1 号館空調機更新工事
- ⑤生田 4 号館及び 9 号館トイレ改修工事
- ⑥生田 4 号館保健室空調機設置工事
- ⑦生田 8 号館昇降機更新工事
- ⑧生田北グランド管理棟分電盤更新工事
- ⑨伊勢原体育施設建替え工事
- ⑩箱根セミナーハウス空調機設置工事

石 巻 専 修 大 学

- ①1 号館及び 2 号館実験室空調機更新工事

(表1)

令和7年度 事業活動収支予算科目別構成



(表2)

主 要 財 務 比 率

比 率	算 式 (× 100)	令和2年度 決 算	令和3年度 決 算	令和4年度 決 算
人 件 費 比 率	$\frac{\text{人 件 費}}{\text{経 常 収 入}}$	59.84 % (51.8 %)	59.21 % (51.3 %)	58.17 % (50.9 %)
人 件 費 依 存 率	$\frac{\text{人 件 費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	74.37 % (69.6 %)	73.48 % (69.7 %)	72.01 % (69.3 %)
教 育 研 究 経 費 比 率	$\frac{\text{教 育 研 究 経 費}}{\text{経 常 収 入}}$	33.45 % (35.2 %)	33.33 % (34.3 %)	33.32 % (36.1 %)
管 理 経 費 比 率	$\frac{\text{管 理 経 費}}{\text{経 常 収 入}}$	6.20 % (8.2 %)	6.02 % (8.3 %)	6.17 % (8.5 %)
事業活動収支差額比率	$\frac{\text{基 本 金 組 入 前 当 年 度 収 支 差 額}}{\text{事 業 活 動 収 入}}$	0.94 % (5.2 %)	1.67 % (6.4 %)	2.58 % (4.6 %)

比 率	算 式 (× 100)	令和5年度 決 算	令和6年度 補 正 予 算	令和7年度 予 算
人 件 費 比 率	$\frac{\text{人 件 費}}{\text{経 常 収 入}}$	55.88 % (50.9 %)	54.88 %	53.80 %
人 件 費 依 存 率	$\frac{\text{人 件 費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	69.76 % (69.8 %)	68.69 %	67.63 %
教 育 研 究 経 費 比 率	$\frac{\text{教 育 研 究 経 費}}{\text{経 常 収 入}}$	33.60 % (36.6 %)	33.35 %	33.37 %
管 理 経 費 比 率	$\frac{\text{管 理 経 費}}{\text{経 常 収 入}}$	5.93 % (8.7 %)	5.98 %	5.84 %
事業活動収支差額比率	$\frac{\text{基 本 金 組 入 前 当 年 度 収 支 差 額}}{\text{事 業 活 動 収 入}}$	4.51 % (4.2 %)	5.14 %	6.96 %

備考：経常収入は、教育活動収入計と教育活動外収入計の合計
備考：（ ）内は日本私立学校振興・共済事業団調査による医歯系法人を除く大学法人平均値を示す。